

## 新年のあいさつ



# 新

年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。旧年中は組合員・利用者の皆様には多大なるご支援を賜り、お礼申し上げます。

昨年1年間を振り返ります

と、春先の低温、その後の長雨と続き農産物全体に生育不良がみられました。

また、新型コロナウイルスの影響により、牛肉や花卉の消費

量が減少するとともに、米の業務用米の取引減や生産過剰見込みから生産量の30万トン削減が

宇都宮農業協同組合 代表理事組合長

## J Aの経営効率化を

めぐる状況  
は、金融事  
業、共済事  
業を中心  
に厳しい状況

であります。この一環として、JA独自の支援事業として、親元独立経営支援事業や園芸施設導入支援事業など7つのメニューを設定し支援を行つております。令和元年度には、約3千万円を支援しました。また、地域貢献として、下野市、上三川町と包括連携協定の締結を行いました。既に宇都宮市と締結しております。全市町と締結となりました。

この様な中、国や県からの経営継続補助金等や各市町の独自支援金。そして、牛マルキンによる補償など様々な対策が講じられました。これらを活用し、農業所得の安定と農業経営の継続意欲喚起のため活用いただいたところであります。当JAも農政対策協議会とともに首長や議員に、これら要請を強力に行うと

必要となっています。

ともに、組合員の申請手続きを引き受け組合員の負託に応えました。

当JAの自己改革の実践は、平成30年11月に開催された第31回JA栃木県大会で決議され、3ヵ年計画の2年目であります。令和2年度も、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標に取り組ん

であります。この一環として、JA独自の支援事業として、親元独立経営支援事業や園芸施設導入支援事業など7つのメニューを設定し支援を行つております。令和元年度には、約3千万円を支援されました。また、地域貢献として、下野市、上三川町と包括連携協定の締結を行いました。既に宇都宮市と締結しております。全市町と締結となりました。

この様な中、国や県からの経営継続補助金等や各市町の独自支援金。そして、牛マルキンによる補償など様々な対策が講じられました。これらを活用し、農業所得の安定と農業経営の継続意欲喚起のため活用いただいたところであります。当JAも農政対策協議会とともに首長や議員に、これら要請を強力に行うと

必要となっています。

ともに、組合員の申請手続きを引き受け組合員の負託に応えました。

当JAの自己改革の実践は、平成30年11月に開催された第31回JA栃木県大会で決議され、3ヵ年計画の2年目であります。令和2年度も、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を目標に取り組ん

代表理事組合長	横松 久夫	代表理事専務	佐藤 俊伸	見形 繁	常勤監事	中山 利久	代表理事常務	村山 克夫	増渕 昭雄	池田 久雄	中山 利久
理事(北)	理事(清原)	理事(姿川)	理事(上河内)	理事(河内)	理事(南河内)	理事(南部)	理事(北部)	理事(城山)	理事(平石)	理事(中部)	理事(東)
理事(北)	理事(上河内)	理事(上河内)	理事(河内)	理事(河内)	理事(南河内)	理事(南部)	理事(北)	理事(北部)	理事(平石)	理事(東)	理事(東)
理事(北)	山口 幸夫	今泉 弘	小田林徳次	矢口 正威	坂本 英希	藤沼 昭夫	福嶋 修	鈴木 和夫	阿部 栄人	関根 信夫	青柳 隆一
理事(北)	半田 光隆	手塚 安則	福村 和夫	鈴木 明	阿部 栄人	関根 信夫	福村 和夫	鈴木 和弘	阿部 栄人	関根 信夫	青柳 隆一
監事(員外)	監事(河内)	監事(豊郷)	相良 律子	猪瀬 尚孝	坂入 典文	藤沼 昭夫	小田林徳次	鈴木 和弘	阿部 栄人	関根 信夫	青柳 隆一
監事(上三川)	理事(女性会)	理事(女性会)	理事(上河内)	理事(上河内)	理事(河内)	理事(南河内)	理事(北)	理事(北)	理事(北)	理事(北)	監事(東)
監事(上三川)	理事(女性会)	理事(女性会)	理事(上河内)	理事(上河内)	理事(河内)	理事(南河内)	理事(北)	理事(北)	理事(北)	理事(北)	監事(東)
矢古宇 克	田野 茂	所 洋子	田野 茂	所 洋子	田野 茂	所 洋子	田野 茂	所 洋子	田野 茂	所 洋子	矢古宇 克

# JAうつのみや自己改革の実践 (令和2年度組合員総集会資料から)

当JAでは、「希望の持てる農業・地域住民の快適なくらしづくりに貢献する」を基本構想とし、多様な組合員の声に応え、願いを実践していくため、農業生産拡大をはじめとした「創造的自己改革」に取り組んでいます。

## 1. 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」へのさらなる挑戦

### 「営農振興・担い手育成積立金」の活用による生産者支援

◇「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」の実現に向け、積立金を活用した支援事業により、意欲ある農業者や新規・親元就農者等への直接支援を積極的に進めています。

【支援金額(R1実績)】総額 約3,000万円 支援対象者 80人

【支援効果試算(R1実績)】下記③④⑤合計(63人) 作付面積 12.6ha拡大  
農家所得 約1億円増加(1人当たり 平均162万円)

#### 《令和2年度 支援事業(取組中)》

- |               |                 |
|---------------|-----------------|
| ①親元独立経営支援事業   | ⑤露地野菜生産振興支援事業   |
| ②簡易パイプハウス支援事業 | ⑥共同乾燥調製施設導入支援事業 |
| ③園芸施設導入支援事業   | ⑦水稻高密度播種栽培支援事業  |
| ④梨生産力向上支援事業   |                 |

### 無料職業紹介事業による労働力支援

◇農家の高齢化・規模拡大等による労働力不足に対応するため、WEBサイトを活用し、「人手が必要な農家」と「農業のお手伝いをしたい地域住民」を無料でマッチングする事業を実施しました。

【取扱実績】農家25戸、採用者63人 (求人農家30戸、求職者225人)  
(主な品目=イチゴ、トマト、ナシ等)

## 「オールとちぎ」販売体制の強化

◇県央3JA(うつのみや、はが野、かみつが)連携強化



## ICTを活用した生産技術支援

◇イチゴ・トマトにおいて、意欲ある担い手を対象にICT技術活用のための栽培講習会を実施しました。(4回)

◇ドローンを活用したリモートセンシング技術により、米の生育計測(数値・マップ化)を実施しました。今後もスマート農業の推進・普及を検討します。

## 農業融資専任担当者の配置

◇農業者・農業法人等の資金ニーズへの対応を強化し、資金面から全力でバックアップするため、農業融資相談員を配置しました。

【農業融資残高】1,962百万円 (期首残高 +195百万円)

農業融資専任担当者の配置

農業融資相談員

農業融資について  
こんなお悩みはありませんか?

どんな資金が使えるのか  
教えてほしい…

借りたいけど手続きが  
大変そうだなあ…

どのくらいの期間で  
借りられるのだろう

農業融資相談員とは…

- 2020年度より新たに任命!  
⇒農業資金に特化した外回りです
- 窓口へ来る手間は取らせません!  
⇒フットワーク軽くお客様のもとへ  
お伺いします
- ニーズに合った資金をご提案!  
⇒各支所の融資担当者と連携し  
お借り入れの手続きをサポートします

農業融資・農業経営に関するお悩み』は  
農業融資相談員が解決いたします!

まずはお気軽にお問い合わせください

農業融資相談員紹介

農業融資相談員紹介

中山 貴広

ナカヤマ タカヒロ

【担当エリア】

- 南部支所
- 上河内支所
- 城山支所
- 豊郷支所
- 安川支所
- 清原支所

坂本 隼也

サカモト シュンヤ

【担当エリア】

- 中央(宝木)支所
- 北部支所
- 河内支所
- 平石支所
- 上三川支所
- 南河内支所

## 2. 「地域の活性化」への貢献

### 見守り活動、災害時の物資支援

◇防護服の製作に農業用ビニールシート(マルチ)を宇都宮市へ提供しました。

※管内市町との包括連携協定締結(災害時の救援物資拠点としての野菜集荷場等の利用等)

- ①宇都宮市(平成30年11月締結)
- ②下野市(令和2年11月締結)
- ③上三川町(令和2年12月締結)



## 協定結び、市民が安全・安心して暮らせる地域社会を 下野市と宇都宮農業協同組合及び小山農業協同組合との包括連携協定締結式



**J A** うつのみやは11月20日、下野市役所にてJAおやまとJA 同で、下野市との包括連携協定を締結しました。

同協定は、農業の生産振興や地域の安全・安心の強化など、複数の施策事業について、JAと下野市が連携・協力して取り組むことにより、地方創生のさらなる推進を図り、持続的なまちの実現を目的としたものです。

今回の協定についてJAうつのみやの横松久夫組合長は「本連携が、地域社会において重要な役割と責任を果たし、下野市より一層の発展に寄与出来るよう願っている」と期待を込めました。

下野市の広瀬寿雄市長は「農業分野のみならず、地域の安全・安心に関する協定を締結できたことは大変ありがたい。未来に向けて、両JAと地域住民の皆さんと共に歩んでいける協定となるよう、期待している」とあいさつしました。

## にっこりベトナムに出荷 梨専門部が600キロ



専門部は11月6日、にっこりのベトナムへの輸出作業を宇都宮市上籠谷町の東部選果場で行いました。輸出用に厳選した5キロ入りの段ボール120ケース、計600キロを輸出しました。農水省の横浜植物防疫所の防疫官1人が立ち合い、病害虫の混入がないかどうかの検査を実施しました。ベトナム用の出荷をもって、今年産の東南アジアへの輸出を終了しました。

ベトナム向け日本産ナシの輸出解禁は、農水省とベトナムの植物検疫当局間で技術協議を重ね平成29年1月に解禁されました。JAは同年から、にっこりの輸出をはじめ、2年ぶり3回目の輸出になりました。

ベトナム以外の東南アジアへの輸出は、マレーシア、シンガポール、香港、フィリピンなどに計7・5トンになりました。

JAうつのみやの担当者は「JAうつのみや産のにっこりは、東南アジアの国々では非常に人気がある。来年以降も期待に応えられるような体制を整えたい」と話しています。



ベトナムに輸出されたにっこり

## 産業部門で上三川町自治功労者表彰 JAうつのみや役員15年の海老原さん



### 第

58回上三川町自治功労者表彰式が11月6日、町役場で行われました。JAうつのみやの前理事、海老原悟さん(72)がJAうつのみやの役員として、協同組合運動を通じ組合員の所得増大と地域の農業振興に15年間務めたことが評価され、産業功労者として表彰されました。海老原さんのほか、衛生・選挙・消防など5部門で19の個人と団体が表彰されました。

自治功労表彰は、上三川町表彰条例に基づき、町のために特に功労があった個人または団体などを表彰し、町政の振興を図ることを目的に毎年行われています。

星野光利町長が受賞者一人一人に表彰状を手渡した後、「地域社会発展のために指導的な役割を果たした受賞者の皆様には、心から敬意を表します」と式辞を述べました。

受賞者を代表して海老原さんが「衛生功労者や消防功労者など各方面での功労が認められた。今後も各分野で町の発展に寄与していく」と祝辞を述べました。

## 新米で地産地消をPR みんなのよい食プロジェクト2020



消費者に真空パック米とウェットティッシュを手渡す荒川部長(右)

**JA** うつのみやは10月30日、「みんなのよい食プロジェクト2020」の街頭宣伝活動をJR宇都宮駅西口・ペディストリアンデッキで実施しました。JA青壮年部盟友と職員が参加しました。国産・県産農畜産物の消費拡大、あわせて国内農業とJAの役割等を消費者に理解してもらうことを目的としたものです。

今回の街頭宣伝では青壮年部盟友と職員が、道行く人にJAうつのみや産の新米「みやおとめ」の真空パックと「笑味ちゃんウェットティッシュ」それぞれ300個を手渡し、JAうつのみや産米の安全、安心をアピール。また、新型コロナウイルス対策として、アルコール消毒、マスク、ゴム手袋を完備した状態で配布を行いました。

宣伝活動を行った、荒川真利青壮年部長は、「今回の宣伝活動で、多くの方々に新米を受け取ってもらえた。とてもよいPRになったと思う」とPRの手ごたえを語りました。

## ➢ 収穫に感謝を込めて、地区の発展を祈願 令和2年度日光東照宮神田抜穂祭

**宇** 都宮市石那田町で11月13日、令和2年度日光東照宮神田抜穂祭を開催しました。同地区の生産者やJA関係者など9人が参加しました。

今年は石那田町に住む村田浩孝さん(48)が奉耕者として選ばれ、6月1日に行われた日光東照宮神田植祭にて約10アールの水田を神田として奉耕しました。

当日は奉耕者の村田さん宅で篠井地区の発展と収穫への感謝を込め、稻穂と種もみを納めました。収穫された種もみは日光東照宮に12月に納められる予定です。

今年の奉耕者に選ばれ、田植祭、抜穂祭を終えた村田さんは「伝統ある祭事の奉耕者に選ばれ、きちんと育てきれるか心配だったが、自分でも良いものが育つよう努力したかいもありちゃんと実ってくれた。まだ祭事があるので気を緩めず最後まで奉耕者を務めきりたい」と意気込みを語りました。



玉串を奉納する村田さん

## 規格に合った作物出荷確認

ほうれん草専門部南河内支部



南河内野菜集荷所で行われたほうれん草専門部南河内支部の目ぞろえ会

**ほ** うれん草専門部南河内支部は10月27日、ホウレンソウの目ぞろえ会を下野市の南河内野菜集荷所で開催。部員や関係者60人が参加し、規格に合った作物を出荷することを確認しました。

石崎伸也支部長が「コロナウイルスの感染拡大の影響で、本年度初めての目ぞろえ会になった。いろいろな意見を出してもらい、改めるところがあれば改善していきたい」とあいさつしました。

JJAの担当者が令和2年度の販売情勢を報告。続いて出荷規格と選果選別、生産履歴報告書の記入方法などについて、具体的に説明しました。

目ぞろえ会では、市場担当者が「土はよく落とし、すぐりをよくして根を切ってほしい。箱や袋も商品と考えて、きれいなままで出荷することが大切になる。市場側としても、昨年同様にしっかり販売していく」と説明しました。



JAうつのみやの軽トラック

## 軽トラックで県産農畜産物をPR (11月7日)

県内の青壮年部の盟友が集まり「軽トラックによる県産農畜産物の消費拡大PR」を行いました。

JAうつのみやの青壮年部も参加し、手製のPRボードを積んだ軽トラックが宇都宮市内を走行しました。



県内の青壮年部盟友達



PRトラックが市内を走行



## 防犯模擬訓練(11月10日・本所)

犯人に扮した職員が金融担当職員に刃物を突き付け、要求金額を書いたメモを手渡しました。別の担当職員が「落ち着いてください」と冷静になるように声を掛けると、犯人役が「早く、金を出せ」と怒鳴り、緊迫した場面を演きました。



落ち着いて時間を使う女子職員



現金を要求する犯人に応じる職員

組合員の皆さんからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。  
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

# 管内インフォメーション

## 「農福連携マッチング」へ参加を促し実践への契機に 河内地区農福連携実践農場見学会

**河** 内農業振興事務所は11月5日、令和2年度河内地区農福連携実践農場見学会を開催しました。農福連携に関心の高い農業者及び福祉関係者等約30人が参加しました。現場を見学することで障がい者就労の現状や課題について理解を深め、この仕組みへの参加を促し、実践への契機とすることが目的です。

(有)山口農園の農場で、社会福祉法人恵友会ひびきの利用者らのタマネギ苗の定植作業を見学しました。その後、(株)JAアグリうつのみやにて農福連携実践者の「(有)山口農園」杉山司さん、「農業生産法人(株)JAアグリうつのみや」代表取締役社長中里太さん、「社会福祉法人恵友会ひびき」薄井奈津子課長の3人から情報提供と意見交換が行われました。質疑応答では、障がい者の雇用について、作業の単純化・刃物は使えない・酷暑は避ける・トイレ問題等課題が出ました。また、企業対企業のマッチングで農業法人が管理するビニールハウスで障がい者がイチゴを収穫し、食品企業が買い取る取り組みを行った中里社長は、「労働力の確保が出来て良かった。イチゴは生食ですが色目に問題はなかった。課題は取り残しが多かった。収穫量に応じた出来高制としたため、成果が分かりやすくやりがいをもって福祉施設が取り組めた」と話しました。



薄井課長(左)、杉山さん(右)、中里社長(中)、



タマネギの苗の定植を見学する参加者

## 家畜防疫を迅速に 河内地域家畜防疫演習

**河** 内農業振興事務所は、11月6日「令和2年度河内地域家畜防疫演習」を栃木県河内庁舎で開催しました。河内地域の行政機関などの関係者約50人が参加しました。

演習は大会議室で演習概要の座学の後、新型コロナウイルス対策で参加人数を制限し、2班2会場に分散して行いました。庁舎3階の「集合施設・防疫拠点」会場で参加者は、防疫のための資材の配布や着衣支援を受けながら防護服の着脱などを体験しました。家畜の防疫では24時間以内のと畜の完了や、72時間以内の焼埋却と迅速性が求められることから、参加者は防護服の着脱場所や待機場所などの各拠点を素早く移動していました。

外来駐車場の「消毒ポイント」会場では、県職員が消毒の見本を参加者に見せながら説明しました。参加者は車内外の消毒や証明書発行など各役割を体験しました。

県央家畜保健衛生所の担当者は「豚熱・鳥インフルエンザはいつ発生してもおかしくない状況にある。臨機応変に対応してほしい」と話しました。



着衣支援で防護服着脱を迅速に



車を消毒する参加者

# 水稻

## 令和2年産米の概要



栃木県の10aあたり収量及び作況指数  
(10月30日公表)

	収 穫	作況指数
栃木県	538kg	101
県北	556kg	100
県央	533kg	101
県南	514kg	104

2年産は6月下旬からの曇りや長雨の影響が続き、日照時間は平年を大幅に下回りました。生育については草丈が高く、茎数は多く、葉色は平年並みでした。が、長雨と日照不足の影響により、中干ができず、軟弱に生育し、いもち病の発生が多く確認されました。

出穂は平年並みからやや早く7月31日となりました。出穂期以降は高温多照が続き、登熟期間は短かったため、千粒重はやや軽いが総粒数は確保され、収量は5338kg / 10a(作況101)となりました。

品質については、カメムシ発生増加による斑点米の被害が増えました。

## 令和2年産米の等級

2年産コシヒカリの11月30日現在の

1等比率は93.9%、2等は5.9%

3等は0.2%でした。(表1)2等以下の

格付け理由はカメムシ類の被害が77.1%と最も多く、次いで胴割粒が7.2%でした。(表2)

カメムシの被害が年々増加しており、今年度は急増しています。品種ごとに適期防除を実施しましょう。胴割粒の発生は、刈遅れや高温での乾燥、過度な粉摺り圧等も要因となりますので注意しま

しょう。  
カメムシの被害が年々増加しており、今年度は急増しています。品種ごとに適期防除を実施しましょう。胴割粒の発生は、刈遅れや高温での乾燥、過度な粉摺り圧等も要因となりますので注意しま

しょ。

麦踏みは、地上部の過剰生育を抑制しながら、分けつを旺盛にし、根張りを深くするとともに、茎葉汁液濃度を高め、耐寒性を増大させる効果があります。  
年末に1～2回、1月以降は茎立期(3月上旬)直前までに2回程度実施しましょう。

## 麦



## 排水対策の実施

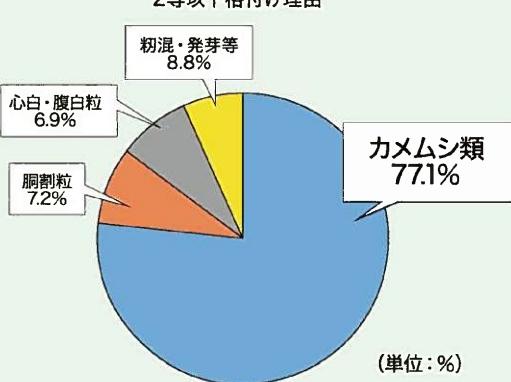
表はすべての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近は、地球温暖化の影響で、雨が一回に激しく降る傾向が強く、降雨日の降水量が多くなっています。

排水対策が未実施の圃場については、圃場への排水溝の設置等を出来るだけ早期に行いましょう。(図1)また、設置済みの圃場については、定期的な点検を行いましょう。

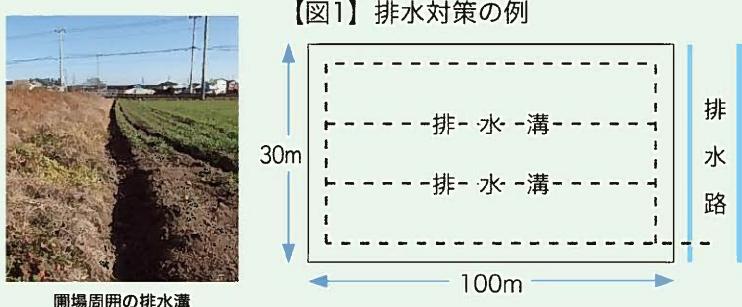
なお、麦踏みは降雨(雪)後で、圃場が湿っている時や、凍結層がある時は行わず、圃場が乾いた状態の時に実施します。



2等以下格付け理由



【図1】排水対策の例



# アグリ・ド・ヤンペ 2021年1月号 No.274

【編集・発行】JAうつのみや 神奈川県宇都宮市戸祭元町3-10  
総務課組合員広報係 TEL028(625)3380 FAX028(627)3307

E-mail soumuka@jau.or.jp  
JAうつのみや 検索

# 河内支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



## 歴史と趣きあふれる河内地区

スマートのみや河内支所は宇都宮市の北東部、河内地域の白沢地区に位置しています。この地区は宇都宮市街地の第1番目の宿場町である白沢宿をはじめとした多くの歴史的地域となっています。

今回紹介するのは、白沢宿にある甲賀甲郡雕刻屋町と白沢郡雕刻屋町といわれる歴史的地域です。甲賀雕刻屋町は天保4(1833)年前後、南越刻屋町は文化12(1815)年から文政3(1820)年にかけての作製とされ、共に歴史ある貴重な彫刻屋町となっています。例の大祭の際に村祭として5年に一度行われます。次の例大祭は令和5年の11月に開催予定で、是非遊びもお楽しみください。

この地区には多くの歴史的跡があり、次の機会に紹介させていただきますので、期待してください。



趣ある白沢宿の町並み



例大祭での夜の「花火」



皆様のお宅へ、いつでもお伺いします。

明るい笑顔で  
皆さまのお宅へ  
お伺いいたします!

JA河内支所はお客様からの信頼された信頼される職員、また、地域の皆様から愛される職員が日々業務に取り組んでいます。皆さんの気持ちを大切に、日々成長していくことを目標としています。例の大祭の際に村祭として5年に一度行われます。次の例大祭は令和5年の11月に開催予定で、是非遊びもお楽しみください。



各種お問い合わせはこちらへ

### 支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3155		

■ キャッシュカードの紛失・盗難  
フリーダイヤル 0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)  
事故受付センター フリーダイヤル 0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)  
アトラス宇都宮ホール 028-660-5555  
アトラスアミリーホール鶴田 028-633-9200  
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達  
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)  
※緊急連絡先 028-633-0085